

1月は欧州各地の伝統行事 藁クマ祭り

新年あけましておめでとうございます。皆様はいかがお過ごしでしょうか？
今年も我が家は実家に帰っておせちをいただく予定です。

1月の伝統行事といえば、日本だとお正月や成人式がパッと
思い浮かぶのではないのでしょうか？
海外だとどんな行事があるのかな〜とネットサーフィンしていると、見つけました！
藁クマ祭りと言う聞き馴染みのないお祭りを……！

どんなお祭りかと申しますと、
全身を藁で覆った格好で、街を練り歩く伝統行事だそうです。
藁のクマを模しているのかと思いきや、見た目はめっちゃホウキ。
ホウキが歩いてる感じです(爆笑)

なんでこんな格好で歩いているのかというと、
農業従事者にとって、その年の農作業をスタートさせる大事な日なんだそうで、
歴史は長く、19世紀ごろからあったそうです。
民家に立ち寄って、お金やビール、タバコや牛肉をもらう習慣があるそうで、
家畜を外に逃すなど行きすぎた行為もあったとかで、一時禁止になった時期も
あったんだとか。それでも1980年に70年ぶりに復活し、現在では英国や
ドイツなどの欧州各地で行われているそうです。

うちの実家の目の前が田んぼで、子どもの時はよく藁で遊んでいました。
藁を編んで、わらじっぽいのを作ったり、たわしのようなものを作ったり。
れんげが咲いたら、れんげで花冠を作って遊びました。

今住んでいる家は、住宅街で田んぼが近しくなく、藁に触れる機会がありません。
日本人にとって藁は特別な存在だと思います。
主食である米であり、残った藁でわらじや蓑、蓑笠、しめ縄など数多くの雑貨も作られています。
現代ではあまり藁に触れ合うことがありません。自分の子が藁に触れる機会がないのが、
私は少し残念に思います。

西予市に藁アートが展示されているのはご存知でしょうか？
だいぶ先ですが、11月頃にやっているそうなので、
今年は家族で出掛けてみようと思います！



わらじ



しめ縄